

## 「日光東照宮の謎」

- 開催日 : 平成25年10月29日、11月5日(火曜日2回)
- 会場 : 埼玉県県民活動総合センター 第1会議室他
- 講師 : 高藤 晴俊先生



高藤先生の身振り手振り入りの熱い論説に肯きながら、引き込まれていました。



先生のダジャレに・・・笑い！



先生が写された写真をスライドにし、説明を受ける。

・・・内容・・・

火曜日2回講座の初日は、①なぜ東照宮は日光に建てられたのか？②なぜ家康は日光に祀られたのか？③裏日光と滝尾古道についてスライドを見ながらお話を聞きました。その根底には壮大なコスモロジー(宇宙論)が秘められていました。主要東照宮の方位と配置について、日本地図の上で久能山東照宮・日光東照宮・江戸城紅葉山東照宮の位置関係を知り、天道思想を背景に家康公を北極星に見立て徳川政権を讃えた詩文「慶長十九年五山衆試文稿」の意図する真実について魅了されてました。

2回目の講座は、東照宮の建築・彫刻に秘められた謎についてのお話でした。

東照宮の建築・彫刻を画像学的に顔相・足・毛・鼻等の特徴から分類されているお話は、大変興味深いものでした。また、サル的一生(見ざる・聞かざる・言わざる)のお話も意味深いものと知りました。

日光には何回も行っている方でも、今講座のお話は、始めて知ることばかりで、12日に実施される日光への日帰り旅行が楽しみになった2回の講座でした。



熱心に先生のお話に関心する受講生の皆様・・・。